

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成27年7月13日
【四半期会計期間】	第30期第3四半期（自平成27年3月1日至平成27年5月31日）
【会社名】	黒谷株式会社 （旧会社名 株式会社クロタニコーポレーション） （注）平成26年11月26日開催の第29回定時株主総会の決議により、平成27年1月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。
【英訳名】	Kurotani Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒谷 純久
【本店の所在の場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766（84）0001（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766（84）0001（代表）
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第29期 第3四半期 累計期間	第30期 第3四半期 累計期間	第29期
会計期間	自平成25年9月1日 至平成26年5月31日	自平成26年9月1日 至平成27年5月31日	自平成25年9月1日 至平成26年8月31日
売上高 (千円)	37,685,294	42,831,655	51,000,880
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	89,484	166,360	46,336
四半期(当期)純利益 (千円)	7,834	98,506	97,783
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	1,000,000	1,000,000	1,000,000
発行済株式総数 (株)	7,168,600	7,168,600	7,168,600
純資産額 (千円)	7,132,453	7,299,381	7,240,564
総資産額 (千円)	16,157,164	18,110,218	17,020,184
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	1.09	13.74	13.64
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	10.00	10.00	20.00
自己資本比率 (%)	44.1	40.3	42.5

回次	第29期 第3四半期 会計期間	第30期 第3四半期 会計期間
会計期間	自平成26年3月1日 至平成26年5月31日	自平成27年3月1日 至平成27年5月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 (円) ( )	12.71	8.95

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、重要な関係会社がないため、記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期累計期間における世界経済は、順調な米国経済、停滞する欧州経済、減速感強まる中国経済、そして底堅い日本経済とマチマチな状況で一進一退が続きました。

このような世界経済の動向から、当社の主力商品であるスクリー用原材料等の需要が増加したものの、世界の銅需要が減退する一方、国内の需給環境の悪化もあり、利益面では厳しい状況が続きました。その結果、当社業績は売上高428億31百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益2億33百万円（前年同四半期は73百万円の営業損失）、経常利益1億66百万円（前年同四半期は89百万円の経常損失）、四半期純利益98百万円（前年同四半期は7百万円の四半期純利益）となりました。

#### (2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3)研究開発活動

当第3四半期累計期間における研究開発活動の金額はありません。

なお、当第3四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,168,600	7,168,600	東京証券取引所 市場第二部	1単元の株式数は100株であります。普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式であります。
計	7,168,600	7,168,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成27年3月1日～ 平成27年5月31日	-	7,168,600	-	1,000,000	-	293,024

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,167,200	71,672	同上
単元未満株式	普通株式 1,300	-	1単元(100株)未満の株式(注)
発行済株式総数	7,168,600	-	-
総株主の議決権	-	71,672	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式8株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
黒谷株式会社	富山県射水市奈呉の江12番地の2	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成27年3月1日から平成27年5月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成26年9月1日から平成27年5月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	0.3%
売上高基準	0.0%
利益基準	0.9%
利益剰余金基準	0.2%

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,592,129	1,725,283
受取手形及び売掛金	1 6,440,222	1 6,193,368
電子記録債権	1 373,066	1 682,500
商品及び製品	625,238	585,827
仕掛品	132,051	130,648
原材料及び貯蔵品	2,673,661	2,961,646
その他	1,938,612	2,335,928
流動資産合計	13,774,982	14,615,202
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	867,836	834,115
有形固定資産合計	2,388,958	2,355,236
無形固定資産	26,174	23,482
投資その他の資産	2 830,069	2 1,116,296
固定資産合計	3,245,201	3,495,015
資産合計	17,020,184	18,110,218
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 1,203,056	1 2,025,973
短期借入金	5,587,524	5,744,442
1年内返済予定の長期借入金	1,228,714	1,075,919
未払法人税等	9,071	54,949
引当金	26,462	41,846
その他	291,195	337,857
流動負債合計	8,346,025	9,280,987
固定負債		
長期借入金	1,349,259	1,394,046
引当金	75,190	85,353
その他	9,145	50,450
固定負債合計	1,433,594	1,529,849
負債合計	9,779,620	10,810,836
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	685,855	685,855
利益剰余金	5,447,854	5,402,991
自己株式	55	55
株主資本合計	7,133,654	7,088,791
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106,910	210,590
評価・換算差額等合計	106,910	210,590
純資産合計	7,240,564	7,299,381
負債純資産合計	17,020,184	18,110,218



(2)【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
売上高	37,685,294	42,831,655
売上原価	36,908,889	41,736,478
売上総利益	776,405	1,095,176
販売費及び一般管理費	850,086	861,773
営業利益又は営業損失( )	73,680	233,402
営業外収益		
受取利息	246	198
受取配当金	2,389	2,285
為替差益	26,461	-
デリバティブ運用益	-	27,112
助成金収入	881	-
違約金収入	-	2,700
その他	10,929	5,134
営業外収益合計	40,906	37,430
営業外費用		
支払利息	53,558	59,152
為替差損	-	44,975
デリバティブ運用損	1,842	-
その他	1,309	344
営業外費用合計	56,710	104,471
経常利益又は経常損失( )	89,484	166,360
特別利益		
固定資産売却益	1,915	9,539
投資有価証券売却益	-	710
保険譲渡益	162,178	-
特別利益合計	164,094	10,249
特別損失		
貸倒引当金繰入額	38,850	-
特別損失合計	38,850	-
税引前四半期純利益	35,758	176,610
法人税、住民税及び事業税	19,564	79,889
法人税等調整額	8,360	1,785
法人税等合計	27,924	78,103
四半期純利益	7,834	98,506

【注記事項】

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

1 四半期会計期間末日満期手形等

四半期会計期間末日満期手形等の会計処理については、当四半期会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期会計期間末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
受取手形	456,412千円	429,601千円
電子記録債権	-千円	48,993千円
支払手形	344千円	-千円

2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の金額

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年5月31日)
投資その他の資産	38,850千円	38,850千円

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)
減価償却費	148,845千円	127,107千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月20日 定時株主総会	普通株式	71,685	10	平成25年8月31日	平成25年11月21日	利益剰余金
平成26年4月11日 取締役会	普通株式	71,684	10	平成26年2月28日	平成26年5月2日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間（自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日）

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月26日 定時株主総会	普通株式	71,684	10	平成26年8月31日	平成26年11月27日	利益剰余金
平成27年4月10日 取締役会	普通株式	71,684	10	平成27年2月28日	平成27年5月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を1社所有しておりますが、損益及び利益剰余金その他の項目からみて重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社はインゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業の他に美術工芸品の製造販売を行っておりますが、非鉄金属事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 （自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日）
1株当たり四半期純利益金額	1円9銭	13円74銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	7,834	98,506
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	7,834	98,506
普通株式の期中平均株式数（株）	7,168,501	7,168,492

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2【その他】

第30期（平成26年9月1日から平成27年8月31日まで）中間配当について

平成27年4月10日開催の取締役会において、平成27年2月28日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	71,684千円
1株当たりの金額	10円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成27年5月1日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年7月6日

黒谷株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高村 藤貴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている黒谷株式会社の平成26年9月1日から平成27年8月31日までの第30期事業年度の第3四半期会計期間（平成27年3月1日から平成27年5月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成26年9月1日から平成27年5月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、黒谷株式会社の平成27年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。